

月刊



平成28年11月1日発行 通巻250号  
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可  
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会  
 〒520-0801  
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F  
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : [shiga-sa@mx.bw.dream.jp](mailto:shiga-sa@mx.bw.dream.jp)

湖国が滋る・水と緑の街づくり

## CONTENTS

- ・ 祝! 受賞報告 ..... 2
- ・ 女性委員会 Doシリーズ No.73  
 ～先進技術から学ぶ～  
 地域産木材を使った大型木造建築物  
 (サミットHR構法)  
 現場見学会とセミナーのお知らせ .. 3
- ・ ヘリテージマネージャー支援委員会  
 滋賀県ヘリテージマネージャー  
 育成講座報告2 ..... 4
- ・ 青年委員会 あーき塾  
 コピックを使用した手書きパース講座  
 ～手描きパース技術を身につけよう～  
 事業報告
- ・ 建築の春 ..... 5
- ・ 滋賀職能大 (ポリテクカレッジ)  
 からのお知らせ ..... 6
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 11月の暦
- ・ 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて  
 第5回



えみしき  
 笑四季酒造 貯蔵用木造蔵

笑四季酒造は、現在は甲賀市となった東海道宿場町 水口の旧街道沿いにあり、市街地の中に佇む酒蔵である。創業は明治25年(西暦1892年)。敷地内で最も古いという写真の木造2階建て酒蔵は昭和元年築。裏の路地に面し、色あせた杉板と土壁の風情が印象的である。戦時中も酒造りを許された数少ない蔵であり、窓には鉄格子が残されている。この蔵は当初仕込み蔵として建てられたが、階高が低く作業効率が悪いことや冷蔵設備の導入等により、その機能はRC蔵に移された。現在1階は通年10℃に設定された火入酒専用の貯蔵室として、2階は酒造用具置き場として利用されている。特に2階の手入れは行き届いており、磨き上げられ柿渋の塗られた柱や梁は照り輝いていた。壁面を全面板張りにした貯蔵室内部はお酒が眠るに相応しい趣きがある。築年数の異なる3つの木造蔵やRC造、軽量鉄骨造の蔵がひしめき連なるなかで、一際輝きを放っている。

笑四季の信条は「独創的にして美味なる酒と感動を、より多くの人に伝えたい」。県内の目の届く範囲だけの優良な原料米を選びぬき、手作業と最新技術の融合により、五感を研ぎ澄ませながら寒造りを行なっている。ユニークなネーミングとともに、クリーンな中にも郷愁を誘う味わいと、一度口にした方であれば「笑四季らしさ」という普遍性を感じることができるはずである。

(前谷吉伸)

## 祝！ 受賞報告



### 第28回 住生活月間功労者住宅局長感謝状授与

公益社団法人 滋賀県建築士会

本会は、平成28年4月に発生した熊本地震において、滋賀県からの派遣要請により応急危険度判定士として8名の会員を4月29日～5月1日までの3日間、熊本市南区条南町に派遣し、被災建築物応急危険度判定活動に従事いたしました。この熊本地震の復旧・復興における功績に対して住生活月間功労者表彰を賜りました。平成28年10月15日、ホテルクラウンパレス神戸で開催されました第28回住生活月間記念式典にて住宅局長から感謝状を授与されました。建築士としての専門性を活かした被災地支援活動を評価して頂いたことを励みに、信頼される、必要とされる建築士として会員一人一人が更なる研鑽を積んでいきたいと思っております。



### 平成28年度 建設事業功労滋賀県知事表彰受賞

山本 良信 氏 (高島地区)

建築技術関係者として建築物の設計に39年に渡り従事され、技術の研鑽に努力されています。また、平成2年11月に本会に入会し、評議員を2期4年、理事を5期9年1ヵ月務められ、平成27年度からは常務理事に就任し、本会の健全な運営に尽力されています。その功労を称え、平成28年10月11日、滋賀県庁新館にて表彰されました。益々のご活躍をご期待申し上げます。



### 平成28年度 日本建築士会連合会会長表彰受賞

中本 美栄子 氏 (甲賀地区)

平成21年より3期6年、女性委員会委員長を務められ、女性建築士の地位向上、技術の研鑽に尽力されました。平成28年10月22日、第59回建築士会全国大会大分大会にて表彰されました。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。



地域産木材を使った大型木造建築物(サミットHR構法)  
現場見学会とセミナー

日本が誇る建築技術である木造建築物は、時代の流れと共に架構方法も多岐に渡ってきました。

先達が培ってきた文化・技術を継承し未来に繋いで行くためには、新しい技術を駆使した木造構法も学び、多用途に渡る木造架構を見極める事も必要と思われれます。

そこで今回は、東近江市が建築中である、(仮称)平田・市辺幼稚園新築工事の現場見学をし、大規模木造建築のサミットHR構法について学びます。



●開催日時：平成28年11月20日(日) 10:00～12:00

●研修場所：東近江三津屋町字蒲生野12番の一部  
(仮称)市立平田・市辺幼稚園新築工事現場  
(東近江市船岡中学校グラウンドの一部)

電車利用：最寄り駅は、近江鉄道 市辺駅 です。

車利用者：駐車場有り 市辺駅周辺に誘導員がいます。

●定員：30名程度

●CPD単位：取得予定

●参加費：会員・会員外 500円 (参加費は当日頂きます。)

●日程：10:00～10:40 セミナー「サミットHR構法について」 講師：三井住商建材(株)担当者  
10:50～12:00 見学 関係者による現場説明  
\*当日は、各自ヘルメットのご準備をお願いいたします。

●申込締切：平成28年11月15日(火)

●申込方法：FAX.077-523-1602 または、(公社)滋賀県建築士会ホームページ  
shiga-sa@mx.bw.dream.jp 催し物 からお申込み頂けます。

※当日連絡先：090-5162-1316 (河島)

## DoシリーズNo.73

～先進技術から学ぶ～地域産木材を使った大型木造建築物  
(サミットHR構法)現場見学会とセミナー 参加申込用紙

会員/会員外	氏名	FAX又はメールアドレス

※取得した個人情報、DoシリーズNo.73の事業以外には使用しません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

ヘリテージマネージャー協議会

HM育成講座は9月24日に第2回、10月15日に第3回の講座が開催されました。第2回講座では、前半に滋賀県文化財保護課・池野保氏（文化庁承認文化財建築物上級修理技術者）より滋賀県の文化財建造物及び保存修理の理念についての講義を受け、後半講座では「東京駅丸の内駅舎保存・復原の記録」と題して設計者である田原幸夫京都工芸繊維大学特任教授より講演をいただきました。第3回講座では大野敏氏（横浜国立大学工学部教授）から建造物調査と文化財としての評価と調査実務について講義をいただきました、この講義は、今後現地演習を行う上で必要な技術であり、今後のHM活動に不可欠の内容であり大野先生の講座は第6回、7回講座へと続きます。両日とも講義後の各1時間、5つのグループに分かれて第10回講座（公開講座）「歴史的建造物の調査研究発表会」に向けてのグループ討議が行われ、各グループメンバーは調査対象建物について熱心な協議を行いました。



グループ討議を行う受講生



第2回講座



第3回講座



第3回講座 池野保講師



第3回講座 田原幸夫講師



第4回講座 大野敏講師

青年委員会

あーき塾 コピックを使用した手書きパース講座 事業報告

10月5日(水)ヤンマーミュージアム研修室にて、「あーき塾 コピックを用いたパース講座」を湖北地域会協賛のもと開催いたしました。

講師に一級透視図技能士であり、スペースデザインカレッジや京都建築大学校でも講師をされている(有)アサガデザイン事務所の浅田能男氏をお迎えしました。第1部と第2部ではコピックを用いて外観、内観パースの着色作業を行い、浅田先生のご指導のもと同色の着色部分にも明るいところ、暗いところ、形状などを意識して色を重ねていくことで、グラデーションや陰影のついた、より立体感のあるパースを作成することができました。

第3部では、講習の感想の他、日常業務、コピック、パース、プレゼンなどについて幅広く意見交換を行いました。中には、これを機会にコピックを実務に活用したいが、どこで購入できるか、どのように色を選定すればいいかなどコピックについての質問も多くありました。日頃コピックを使われている方も、そうでない方も、着色のコツを学び充実したセミナーになりました。施工の打ち合わせ等においても、お施主様にも納得頂け、打ち合わせがスムーズに行くスキルを習得出来たと思います。

当日は台風の影響で開催がややぶれましたが、会員をはじめ多数の皆様にご参加頂きましたことをここにお礼申し上げます。



浅田氏による巡回指導



コピックで着色

若き建築士たちの熱き思いを、取材を通してご紹介していく新シリーズ「建築の春」です。

## 第六回

かくばり  
覚張 良太 さん

湖東地区（滋賀職業能力開発短期大学校 住居環境科 講師）

### 建築業界に定着する人材を育てるために

建築業界は、好きでないと続かないと言われ、やる気があるかないかの根性論が先行しがちだった。そのような側面があるせいか、若者たちが建築業界に就職してもなかなか定着せず、職人や現場監督が不足している現状がある。職業としての建築を確立し、人を雇う立場としての企業意識を変えていく必要があるだろう。

現在滋賀職業能大の住居環境科には、1年生と2年生それぞれ20名程度在籍しており、新しい未来への一步に大きな可能性や夢を持つ者も居れば、未知への挑戦と不安に悩んでいる者も多いという。

滋賀職能大では、実技・学科が一体となった指導を通して、建築施工管理を主軸とした建築全般の知識と技能の習得を行っている。このような能力開発を通じた学生指導の成果が、「木造耐力壁ジャパンカップ」四連覇につながっている。

「建築の仕事は、雑誌に載るような華やかな仕事ばかりではない。失敗が許されない毎日が勉強の難しい仕事だと思う。だからこそ、学校では失敗すればいい。何にでも挑戦してほしい。」

また、社会に出る前に仕事の厳しさや自身の向き不向きを知るため、学生が社会に触れる機会を多く設けるようにしているという。具体的には現場見学やインターンシップ、企業と対話の場を設けることだ。覚張氏が建築士会に入会したきっかけとしては、企業と建築を志す若者との橋渡しをし、活躍している建築士との交流の機会を増やしたいという思いがあったからだという。「学生に対する指導とは、社会のルールを手取り足取り指導するのではなく、自分で見極め自己決定する選択肢を広げる手伝いを手取り足取り指導することだと思う。」

幼少期の「国際花と緑の博覧会」での思い出を聞いた。

「花博は多くの来場者で賑わっており、当然のように家族で会場に足を運んだ。大阪で工務店をしていた父親が、なぜか人混みとは無縁のパビリオンの裏手に私たちを連れて行った。そこには小さな箱のような倉庫のような・・・わざわざ観るにはお世辞でも立派とはいえない建築物があったが、父親は笑みを浮かべながら照れたように言ったことを覚えている。『すごいやろ！これ造ったんやで！』

世界に誇れる634mの巨大建築物が建設されるこの時代、街中に点在する建築物には目を留める人はいないのかもしれないが、それでも私はこの街中にある建築物には不思議な魅力があると思う。それは、笑みを浮かべた自信満々の誰かの顔がそこにあり、私もその道を進もうと決めたから。だからこそ今の若者たちに伝えなくてはいけないと思う。建築はおもしろい。」

（取材 ki. haru）



1978年 大阪府大阪市生まれ  
職業能力開発総合大学校卒業  
2012年4月より 滋賀職業能力開発  
短期大学校勤務



耐力壁試験の様子



木造耐力壁ジャパンカップで優勝した学生達

# 滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH031	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	11/9(水)、16(水)※ (日程変更)	10:00~17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の概要は <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/2016ch.pdf>

ネットでの受講申し込みは [http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar\\_form\\_mousikomi.html](http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html)

受講申込書のダウンロードは <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/entry2016.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属

滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

[www3.jeed.or.jp/shiga/college/](http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/)

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

## 新入会員のご紹介

地区	氏名	地区	氏名
湖北地区	日野 文麿 呂	湖東地区	森本 恭 広
湖北地区	葛川 順 也	高島地区	三矢 剛 士
大津地区	清水 章 智	高島地区	安本 知 子
彦根地区	上田 洋 平	高島地区	竹脇 治 美

## 11月の暦

1	火	大安		12	土	仏滅	近建青「滋賀会議」	21	月	先勝	
2	水	赤口		13	日	大安		22	火	友引	
3	木	先勝	文化の日	14	月	赤口		23	水	先負	勤労感謝の日
4	金	友引		15	火	先勝		24	木	仏滅	
5	土	先負		16	水	友引		25	金	大安	
6	日	仏滅		17	木	先負		26	土	赤口	女性委員会Do'sシリーズ No.72
7	月	大安		18	金	仏滅		27	日	先勝	「岡山県真庭市」
8	火	赤口	四役・委員長会議	19	土	大安	第4回 ヘリテージ マネージャー育成講座	28	月	友引	ヘリテージマネージャー 支援委員会
9	水	先勝	応急危険度判定士講習会								
10	木	友引		20	日	赤口	女性委員会Do'sシリーズ No.73 インテリアプランナー製図試験	29	火	大安	
11	金	先負									

## 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて えみしき 笑四季酒造（甲賀市水口） 第5回

昭和37年築のRC造の酒蔵。日本酒蔵で最も多くのRC造の蔵が建てられた時期であり、銘醸地の灘や伏見でも数多く現存しているが、県内ではわずか2社のみという。それだけ県内の酒蔵の多くが小規模であったことを物語る希少な存在である。1階は仕込タンクと酒槽搾り機が置かれる仕込場、2階は蒸した米の放冷場、プレハブの冷蔵庫内が酒母仕込場となっている。建築当時は機械化が進み大容量のタンクで生産し、大手メーカーへ桶売りしていた時期であるが、消費低迷と共に少量生産で高品質の酒造りへと舵を切った。酒質はここ数年で大きな変化と進化を遂げている。蔵の娘さんが酒造りに参画し東京農大で学ばれた花酵母を使用したお酒にチャレンジ。その後結婚されたお相手が杜氏に就任し、「笑四季」の名を全国区へ押し上げる新商品を開発され、従来にない新しい日本酒を手がける新進気鋭の酒蔵として、今や地酒ファンや業界の間で注目を集める存在となっている。

代表銘柄：「笑四季」「センセーション」「モンズーン」

(前谷吉伸)

